

Weekly コラム

平成 27 年 5 月 12 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

LaWS 「レーザー・ウェポン・システム」

昨年、年の瀬、米海軍研究所(ONR)がとある兵器の映像を公開しました。その兵器が搭載された艦船に接近する無人小型船と無人偵察機が突如として火柱を上げて運転席らしき部分が吹き飛ぶ…。何が起きたか理解できないこの兵器の正体は「レーザー兵器」、現実的に可能になれば戦術に革命的な変化をもたらすと言われてきた兵器がついにベールを脱ぎました。

米海軍はペルシャ湾に展開している輸送揚陸艦「ポンス」にレーザー兵器「LaWS:レーザー・ウェポン・システム」を配備、運用を開始しました。このレーザー兵器のメリットは砲弾やミサイルを搭載する必要がないため弾薬庫が不要になり、着弾による2次災害を防げる上に空いたスペースを有効活用することができます。また、コストの面では驚異的な差が出ます。ミサイルは平均して1発数万から数十万ドルしますが、レーザー兵器の1回のレーザー照射にかかる費用は1ドルに満たないというから驚きです。「現在、米国では様々な視点から次世代兵器の開発が進められているが、このレーザー兵器は1発1ドルにも満たず、軍事予算が削減方向にある中で、有効な兵器のひとつだ」と米海軍関係者は声高々に話すとともに、「ポンスが危険にさらされた場合、LaWSが艦を守る」と意味深な発言をしています。

見た目は望遠鏡のような外見、レンズらしき部分から照射されたレーザーは瞬時に目標物に到達し、破壊します。破壊された側は不測の攻撃に一種のパニックに陥るでしょう。強風や高温多湿といった悪条件の中でも命中精度は変わらないそうです。そしてその操作はオペレーションルームの隊員がゲーム機さながらのコントローラーでモニターを見ながら操作します。公開された映像では、隊員の操作精度はかなり高く、本当にゲームの世界です。ただ、ここまで簡単に操作できるとゲーム感覚で打ちまくる隊員も出てくるのではないかといらぬ心配をさせていただきます。米海軍は出力を更に向上させ、2020年までに本格配備する計画です。

世界を1時間以内に攻撃することが出来る「全地球即時攻撃」計画に基づいて、着々と兵器開発を行っている米国と、経済面では各国が利下げ競争や量的緩和を実行する中で、着々と「利上げ」に進んでいる米国。軍事の上積みと世界経済の流れは一見リンクしていないように感じますが、様々な角度から戦略的に物事を進める米国という国のスタンスを考えると、もしかしたら来るべき有事に備えての動きかもしれません。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、yasukouchi@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。